

令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
B・C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	【C区分】一般社団法人京都能楽囃子方同明会	○	○	○	○	音楽として聴く能「囃子堂」	早笛 三番三 共演 神楽 獅子	

【A区分・B区分団体】

C	音楽	オーケストラ等	東京交響楽団	○	○	○	○	オーケストラがあなたのまちに来てくれる！-東京交響楽団地域巡回演奏会-	<第1部>スメタナ:歌劇『売られた花嫁』序曲 小室昌広:「ディズニーのメロディによる管弦楽入門」(ナレーション付き) 等 <第2部>ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」から第1楽章 【指揮者体験】ピゼー:歌劇『カルメン』より前奏曲 【生徒との共演】杉本竜一:BELIEVE(ビリーヴ)外山雄三:管弦楽のためのラプソディ 等	
C	音楽	オーケストラ等	札幌交響楽団	○	○	○	○	札幌ジュニアクラシック〜オーケストラと遊ぼう！〜	J.シュトラウス/ラデツキー行進曲 <楽器紹介コーナー> モーツァルト/セレナード第13番ト長調K.525「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第1楽章 等 <楽器体験コーナー:歌劇『カルメン』より「トレアドル」> <指揮者体験コーナー:ハンガリー舞曲第5番>ブラームス/ハンガリー舞曲第5番 <みんなで歌おう〜訪問校校歌>外山雄三/管弦楽のためのラプソディ	
C	音楽	オーケストラ等	大阪フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	<Enjoy! オーケストラ>	1. ワーグナー/歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲 2. 【弦楽器紹介】 3. チャイコフスキー/「弦楽セレナード」より ワルツ (省略) 9. ベートーヴェン/交響曲 第5番 ハ短調 作品67「運命」より 第3・4楽章 10. 「アンコール曲」J.シュトラウスⅡ世/トリッチ・トラッチ・ポリカ 他	
C	演劇	児童劇	一般社団法人 劇団野ばら	○	○	○	-	創作劇「あした あさって しあさって」	創作劇「あした あさって しあさって」 脚本 かめおか ゆみこ 演出 香川 良成 音楽 小椋 佳 /田島美津子 振付 畠山 典子	
C	演劇	演劇	カンパニーデラシネラ	○	○	○	○	カンパニーデラシネラ 『ドン・キホーテ』	『ドン・キホーテ』 原作/ミゲル・デ・セルバンテス 演出/小野寺修二 テキスト/山口茜 美術/石黒猛	
C	演劇	ミュージカル	劇団ボブラ	○	○	○	○	歌って、踊ってミュージカル 『シンドバットの大冒険』	ミュージカル「シンドバットの大冒険」 アラビアンナイトより/本間裕治 木島 恭 木島 恭/もたい清美	
C	舞踊	現代舞踊	特定非営利活動法人国際文化交流促進協会カルティバート	○	○	○	○	-日韓トップダンサー夢の競演-『これがヒップホップダンス!』	学校巡回公演(2020)-日韓トップダンサー夢の競演- 『これがヒップホップダンス!』 企画/制作 堅田 浩巳 構成/演出:今城 裕治 振付:江頭 耕治 監修:姉小路 公孝	
C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 大槻能楽堂	○	○	○	○	初めての能楽 能「舍利(しゃり)」鑑賞会	1 部 ◆はじめての能楽 2 部 ◆能楽鑑賞「舍利(しゃり)」 等	H30 (継続)
C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	大蔵流狂言	○	○	○	○	大蔵流こども狂言	狂言「椿轉」 狂言「柿山伏」	
C	伝統芸能	邦楽	津軽三味線 あべや	○	○	○	○	五感に飛び込む日本の音! あべや邦楽ライブ!!	●体を突き抜ける津軽三味線の響き ●重低音が会場を包み込む和太鼓の大迫力と体験 語り・舞いのパフォーマンスが、視覚に飛び込む ●あべやと児童・生徒全員で創るみんなのソーラン ●自然と手拍子が出てロザキ日本人のソウル曲、民謡をたっぷり ●和楽器の王者、尺八の奥深い音色 ●和楽器演奏による校歌の合奏 作曲:阿部金三郎 他	
C	伝統芸能	邦舞	沖縄伝統組踊「子の会」	○	○	○	○	おきなわ伝統芸能「琉球舞踊」と「組踊」	■琉球舞踊 上演作品『四つ竹』(舞踊の種類:女踊り) ・振付・監修:志田房子国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者(総合認定) ■『安里屋ユンタ』児童・生徒、エイサー演舞発表 ■組踊 上演作品『万歳敵討』仇討物(ユネスコ無形文化遺産) ・作者:田里朝直 ・初演:1756年尚穆王冊封の宴で上演 ・監修:宮城能風国指定重要無形文化財「組踊」保持者(総合認定)	
C	メディア芸術	メディアアート等	WOW	○	○	○	-	BAKERU - デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 -	-	

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から、「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogeijutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしやだんほうじんきょうとうのうがくはやしかたどうめいかい 一般社団法人京都能楽囃子方同明会		
代表者職・氏名	理事長 武田市和		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)		
電話番号	075-863-5120	FAX番号	075-320-1580
ふりがな 公演団体名	いっばんしやだんほうじんきょうとうのうがくはやしかたどうめいかい 一般社団法人京都能楽囃子方同明会		
代表者職・氏名	理事長 武田市和		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)		
制作団体 設立年月	1918年12月		
制作団体 組織	役職員 理事長 武田市和 理事 左鴻泰弘 理事 吉阪一郎 理事 成田有辞 理事 前川光範 監事 西村保美	団体構成員及び加入条件等 京都を主な活動地域とする玄人能楽師囃子方 24名	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	谷口正壽

経理処理等の 監査担当の有無	有 無		経理責任者名	成田有辞
制作団体沿革	大正 7 年、在京都の能楽囃子方が集まり「同盟会」を立ち上げました。戦中戦後の混乱期に一時自然解散しましたが、昭和 30 年「同和会」として再出発しました。以後、毎年1回囃子方ならではの公演に取り組み、昭和 61 年に、名称を「同明会」に改めました。平成 15 年より 8 年間、能楽囃子の音楽性にスポットを当てた、「囃子堂」公演にも取り組み、「同明会能」とあわせて毎年2回の公演を行ってきました。平成 24 年 10 月に一般社団法人京都能楽囃子方同明会として法人を設立。25 年度よりワークショップを中心とした学校公演や、子ども達だけで実演する、こども能楽囃子教室など次世代に能楽の魅力を伝える活動を展開しています。			
学校等における 公演実績	平成 29 年度 「こども能楽囃子教室」2 公演 「能楽囃子講座」1 公演 「囃子堂」2 公演 平成 30 年度 「こども能楽囃子教室」2 公演 「能楽囃子講座」1 公演 令和元年度 「こども能楽囃子教室」2 公演 「能楽囃子講座」1 公演 「体験、体感、能楽の世界」1 公演			
特別支援学校に おける公演実績	平成 27 年度 青森県立若葉養護学校 平成 28 年度 長崎県立虹の原特別支援学校 平成 30 年度 福島県立相馬支援学校			
参考資料の 有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 無	
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 無	
		※公開資料有の場合 URL	DVD を提出します	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	
	A の 提出が 困難な 場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 無	
		※公開資料有の場合 URL		
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:		

公 演 ・ ワークショップの 内 容

【公演団体名 一般社団法人京都能楽囃子方同明会】

対 象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中 学 生			
企画名	音楽として聴く能 「囃子堂」			
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早笛 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ) 休憩 6. 三番三共演 7. 神楽 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー 公演時間(95分)			
著作権	制作団体が 所有		制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	能楽の音楽性にスポットを当てた、ライブ感覚の公演です。 1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 …居住まいを正し、きちんと挨拶をしたあと、能楽の概要や歴史をわかりやすく説明します。 2. 各楽器解説…各楽器の説明をして、能囃子の音楽としての魅力を解説します。 3. 早笛…龍神や鬼が登場する際に演奏される軽快で、ハイテンポな登場の音楽です。 4. カケ声で表現してみよう…能楽囃子の特徴であるカケ声を体験して頂きます。カケ声のかけ方でどんな感じに聞こえるのか、間の取り方がどんな風に変わるのかを体験します。 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ)…大ベシは早笛と同じ旋律・リズムパターンですが、テンポが極端にゆっくりで、力強く超高速での移動を表現します。早笛と比較することで能楽囃子の表現法を学びます。流シでは、互いの気を感じて打つ能楽囃子の最高技法を体験します。 休憩 希望者は小鼓と大鼓を体験できます。(ふれあいタイム) 6. 三番三共演…翁に付随する狂言の舞曲です。大変めでたい曲で、同じリズムを繰り返して演奏します。児童・生徒と共演することで会場全体が一体となる楽しい演奏としたいと思います。 7. 神楽…天照大神が隠れた、天岩戸の前で天鈿女命が舞う舞曲です。リズム、ノリの変化に富み、高い演奏技術が要求される楽曲で、大変緩急の激しく観る者をワクワクさせる曲です。 8. 獅子…文殊菩薩の霊獣獅子の舞曲です。静と動・間合のやりとり・気迫が充実した曲で、これぞ能楽囃子の真髄と言えます。			

	9. 終わりの挨拶と質問コーナー…様々な疑問にお答えします。最後に始まりと同じく、居住まいを正して、きちんと挨拶をします。		
演目選択理由	能楽は、演劇・舞踊・音楽・文学・美術など様々な要素が入った、総合芸術です。この公演は能楽の音楽である、囃子にスポットを当て、独自の音楽性を紹介します。 内容は、大人が聞いても十分に満足のいく芸術性の高い曲ばかりで、退屈しないようテンポの速く軽快な「早笛」、ゆったりと重厚な「大ベン」、舞曲の原点と言える「神楽」、気迫が充実した「獅子」などを織り交ぜ、能楽囃子の魅力をわかりやすく伝えられるように選曲しました。 児童生徒との共演曲「三番三」は同じリズムの繰り返しなので児童生徒でも演奏しやすいことから選びました。 この公演は、特に能楽囃子の魅力が感じられる演目ばかりです。ともすれば難解と言われる能楽でも、音楽である囃子ならば理解と言うものを必要とせず、純粹に見て聞いて面白いと感じて頂けます。 能楽囃子は、わずか4人で30人のオーケストラに匹敵するといわれます。その力の源は「気迫」にあります。「気迫」とは、見える物ではなく、聞こえる物でもなく、感じるものです。この、目には見えない、耳には聞こえない「何か」を感じとることで、現代日本人が忘れてしまった五感以外の感覚を呼び覚まし、子ども達の感性を育みたいと思います。 能楽の「魅力」「迫力」を存分に伝え、西洋の「ド・レ・ミ」(絶対の音楽)とは全く違う、日本独自の能楽(相対の音楽)の素晴らしさが伝わる公演にしたいと思います。		
児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	児童生徒共演のコーナーでは、児童生徒達は、ワークショップで体験した「三番三」の小鼓を打ちます。事前に選抜した1組5名の児童生徒が、実際に楽器を持ち、小鼓を打ちます。この時、出演能楽師の笛、大鼓が加わります。選ばれなかった児童生徒達も、エア小鼓(手拍子)で参加し、全員でカケ声をかけて、会場全体での共演となります。 カケ声で表現してみようでは、能楽囃子の基本である、カケ声を全員で体験します。 休憩中に、希望者は小鼓と大鼓の体験ができます。直にふれあうことで、児童生徒達と能楽師の距離を縮めたいと思います。		
出演者	笛 杉市和、森田保美、左鴻泰弘、杉信太朗の内1名 小鼓 林吉兵衛、吉阪一郎、曾和鼓堂、古田知英、林大和、林大輝の内1名 大鼓 河村 大、石井保彦、谷口正壽、井林久登、渡部諭の内1名 太鼓 前川光長、井上敬介、前川光範の内1名 案内人 谷口正壽、唐錦崇玄の内1名 (太字は重要無形文化財総合指定保持者) 計5名		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 5名 スタッフ: 1名 合 計: 6名	機材等 運搬方法	積載量 0.7t 車 長 4.8m 台 数 1台

【公演団体名 一般社団法人京都能楽囃子方同明会】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 ・ 無) 会場設営の所要時間(0.5 時間程度) <table border="1"> <tr> <th>到着</th><th>仕込み</th><th>本公演</th><th>内 休 憩</th><th>撤去</th><th>退出</th></tr> <tr> <td>11 時 30 分</td><td>11 時 30 分～12 時</td><td>13 時 30 分～ 15 時 5 分</td><td>10 分</td><td>15 時 30 分～ 15 時 50 分</td><td>16 時</td></tr> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出	11 時 30 分	11 時 30 分～12 時	13 時 30 分～ 15 時 5 分	10 分	15 時 30 分～ 15 時 50 分	16 時
到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出													
11 時 30 分	11 時 30 分～12 時	13 時 30 分～ 15 時 5 分	10 分	15 時 30 分～ 15 時 50 分	16 時													
児 童 ・ 生 徒 の 参 加 可 能 人 数	ワークショップ	150 名																
	本公演	800 名																
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	公演当日に共演する「三番三」の小鼓を指導します。 能楽という日頃見ることのない芸術を親しみやすく伝えるため、それぞれの専門家である、小鼓方・笛方・大鼓方(全員能楽師)の計3名でワークショップをします。なぜカケ声を掛けるのか、正座をして演奏するのか、そして何が必要なのかを解説します。カケ声をかけるのを恥ずかしがる子が多いと思われますので、まずは声を出す練習に力を置きます。 能楽は日常の稽古が大切です。ワークショップ終了後に、小鼓の構え方、打ち方の練習用に“MY 小鼓”(小鼓のレプリカ)をお貸しします。それを使って繰り返し練習してもらいます。 1. 始まりの挨拶…居住まいを正し、きちんと挨拶します。 2. 能楽ってなあに?…能楽の構成や特徴をわかりやすく説明します。 3. 小鼓ってどんな楽器?…小鼓の打楽器でありながら、一つの楽器で音色を変えられる、世界的に見ても珍しい希な構造や演奏法を紹介します。 4. 大鼓ってどんな楽器?…大鼓は小鼓とよく似ていますが、性質は全く正反対です。特徴と演奏法を紹介します。 5. 能楽囃子を聞いてみよう。…「安宅瀧流」を実演します 6. カケ声を掛けよう。…みんなでカケ声を掛けてみよう。どうしてカケ声を掛けるのか、掛けないとどうなるのかを解説します。 7. 小鼓と大鼓を体験しよう。…児童生徒達に実際に、楽器に触れていただきます。 休 憩 10分 8. 能楽囃子を聞いてみよう。…公演当日に共演する「三番三」を実演します。 10. 小鼓を打ってみよう。…公演当日に、共演する「三番三」の小鼓を指導します。 11. 質問感想コーナー…不思議に思ったこと、興味を持ったことなど、何でもお答えします。 12. 終わりの挨拶…始まりと同じく居住まいを正してきちんと挨拶をします。 (95 分)																	

	ワークショップ終了後、“My 小鼓”（小鼓のレプリカ）を使って練習して小鼓の構え方、打ち方を習得してもらいます。練習用の My 小鼓をお貸しします。 能楽は日常の稽古が大切です。公演当日まで繰り返し練習できるようにお稽古用 DVD をお渡しします。
ワークショップ 実施形態の意図	西洋式の生活スタイルになった現代において、能楽は、日常から縁遠い芸術かも知れません。このワークショップは、和気あいあいと、子ども達とふれあいながら、能楽の基本を紹介します。子ども達には、能楽とは特別・特殊なものではなく、身近なものだと感じてもらいたいと思います。そして、日本の伝統的な姿勢やカケ声・間を知り、世界に誇る能楽の特徴を理解して、「肚を据えて、気を込める。」ことを体験することにより、日本人が元来持っている、芯の強さを身に付けて欲しいと思います。 能楽は礼に始まり、礼に終わります。挨拶は、コミュニケーションの第一歩です。姿勢を正し、心を添えて挨拶することで、相手への尊敬を表します。互いに尊敬し合うことで、自他の存在を認め、心を開き近づくことができると知って欲しいと思います。
特別支援学校での 実施における工夫 点	学校側と緊密に連絡を取り、事情に応じて、できるだけ可能な範囲でのワークショップを行い、公演につなげます。 具体的には、解説を省き、カケ声体験。手拍子での囃子体験に重点を置く。実際に楽器に触れる、肌で感じる公演にする。楽器の共演が難しいときは、カケ声での共演にするなど、臨機応変に様々な形で、児童生徒達の心に残る、肌で感じる、公演・ワークショップにします。
実 施 可 能 時 期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

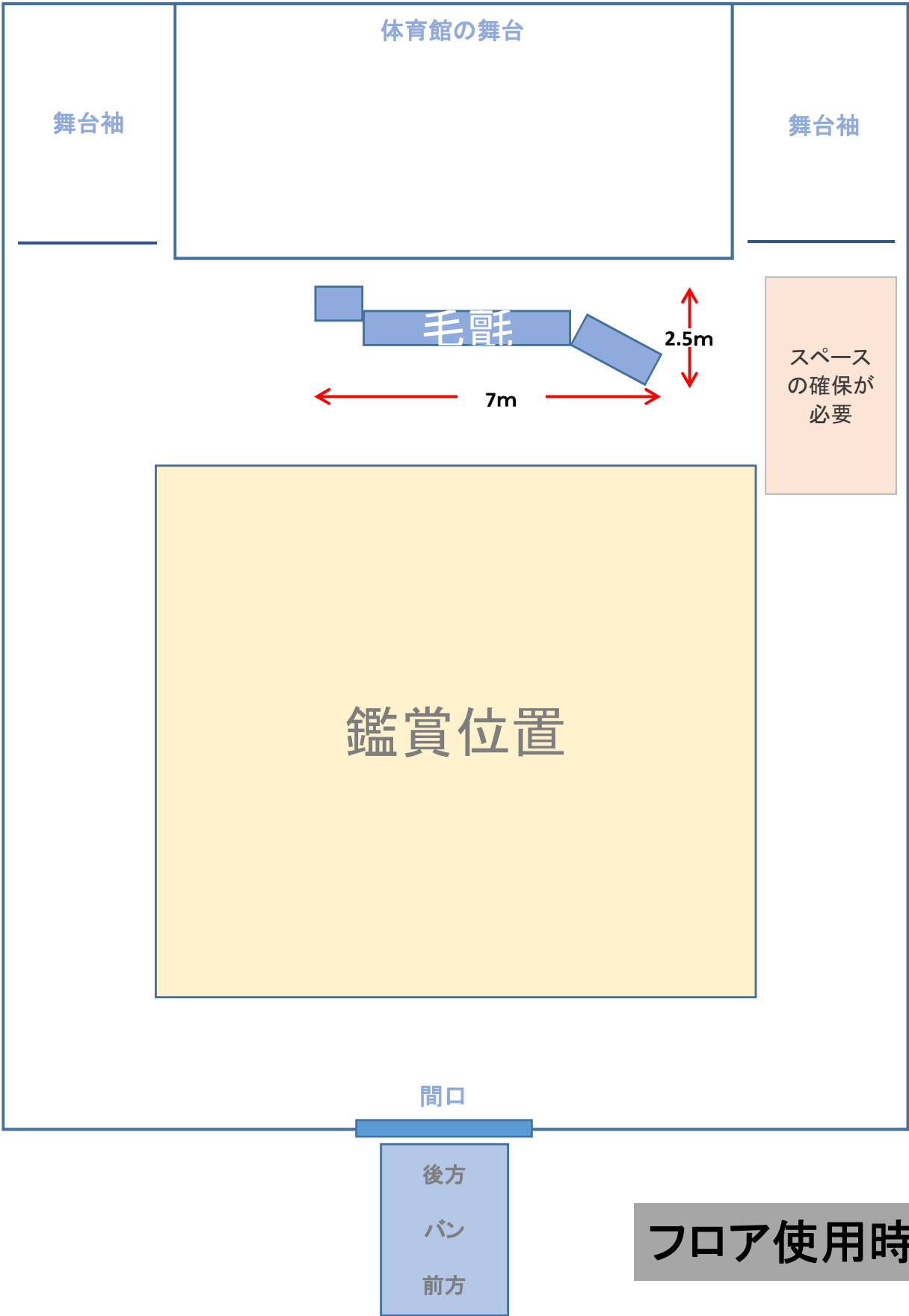
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K120	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	K	区分	C区分
公演団体名	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会				制作団体名	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	1室	条件		特になし。			
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *				バン	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ				バン1台			
	—	搬入車両の横づけの要否 *				不要			
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *				問わない			
	—	搬入経路の最低条件				特になし。			
		理由							
	—	設置階の制限 *				問わない			
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.8m		高さ	1.8m		
WSについて	可	参加可能人数			150名				
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *			
	可	所要時間の目安 単位:分			95分				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイム スケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			800名				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	7m	奥行	2.5m	高さ	1.8m	
	可		舞台袖スペースの確保 *			要			
	可	体育館の舞台を使用する 場合の条件	舞台袖スペースの条件 *			4名が控えられるスペース			
	—		緞帳 *	不要	バトン *	不要			
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			
	—	ピアノの調律・移動の要 否	指定位置へのピアノの 移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。			
	—		ピアノの事前調律 *		不要				
	—	フロアを使用する場合の 条件	バスケットゴールの設 置状況 *		格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								

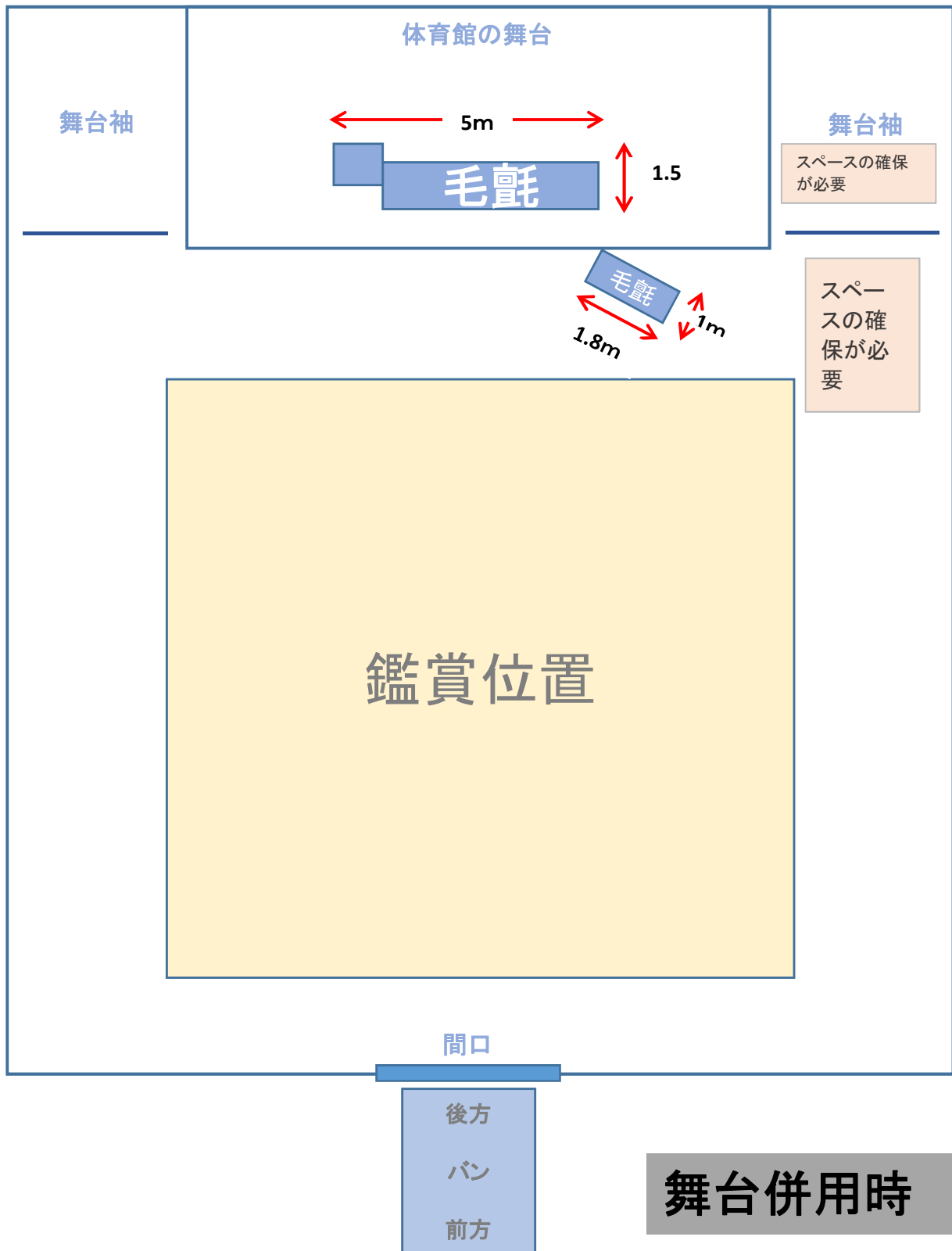
会場図面1(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	不要			
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない			

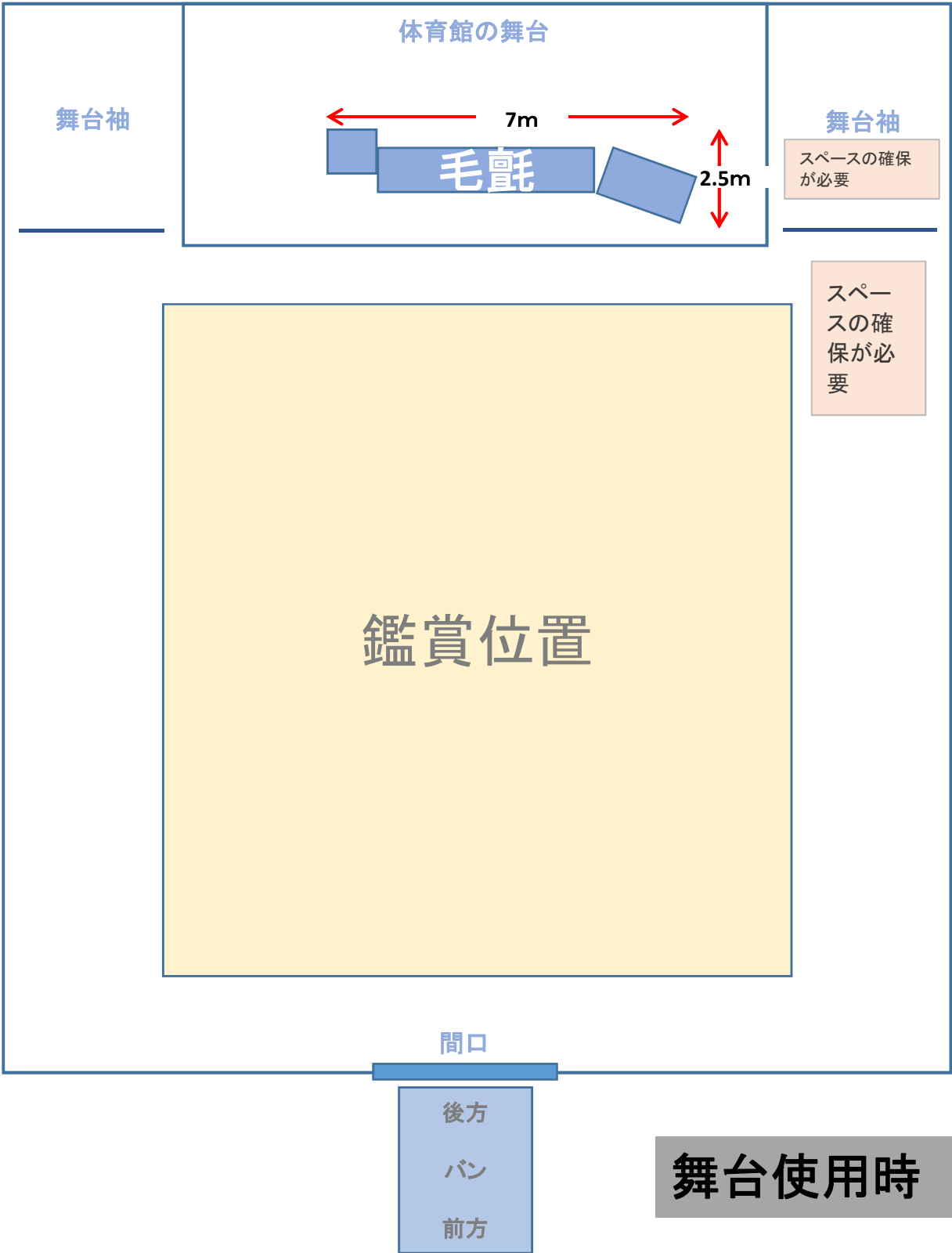
※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

会場図面2(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	不要			
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否	不要			
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない			

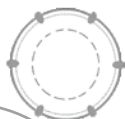
※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



大きな声で
かけ声をかけよう！



は や し ど う
雑子堂
音楽として聴くことができる



能楽師と一緒に
ワークショップで練習した
「三番三」の小鼓を発表しよう！



いっばんしゃだんほうじんきょうとのうがくはやしかた
一般社団法人 京都能楽雑子方
どうめいかい
同明会

文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

はじめの挨拶と能楽の歴史の紹介	ふえ こつつみ おおつづみ たいこ がつき ひみつ せま 笛、小鼓、大鼓、太鼓。楽器の秘密に迫ろう。
各楽器解説	けいかい どうじょう おんがく き 軽快でハイテンポな登場の音楽を聴こう
「早笛」	
カケ声で表現してみよう	カケ声を体験しよう。カケ声で何が表現できるかな？
能楽囃子の表現法	はやし なに ふう ひょうげん のうがくはやし さいこうほう たいけん 囃子って、何をどんな風に表現するのかな？能楽囃子の最高技法を体験しよう。
・・・休憩・・・	
「三番三」共演	ごごくほうじょう いの いっしょ えんそう 五穀豊穡を祈って、一緒に演奏しよう！
「融 舞返」	優雅な貴族の舞の囃子を聴こう。いろんな演奏テクニックが詰まっているよ。
「獅子」	どう せい きはく のうがくはやし しんずい かん 動と静。気迫。能楽囃子の真髄を感じよう。
質問感想コーナーと終わりの挨拶	

スケジュール

	実施日程	実施校	地元主催者名
①	6月24日(月)	静岡市立中薬科小学校	静岡市教育委員会
	6月25日(火)	河津町立東小学校	静岡県
	6月26日(水)	真鶴町立まなづる小学校	神奈川県教育委員会 / 真鶴町教育委員会
	6月27日(木)	川崎市立榎ヶ谷小学校	川崎市教育委員会
②	9月9日(月)	横須賀市立走水小学校	神奈川県教育委員会 / 横須賀市教育委員会
	9月10日(火)	三浦市立剣崎小学校	神奈川県教育委員会 / 三浦市教育委員会
	9月12日(木)	阿南町立阿南第二中学校	長野県教育委員会 / 阿南町教育委員会
	9月30日(月)	富山市立古沢小学校	富山県教育委員会 / 富山市教育委員会
③	10月1日(火)	富山市立音川小学校	富山県教育委員会 / 富山市教育委員会
	10月2日(水)	羽咋市立余喜小学校	石川県 / 羽咋市教育委員会
	10月3日(木)	小松市立木場小学校	石川県 / 小松市教育委員会
	10月28日(月)	海津市立海西小学校	岐阜県 / 海津市教育委員会
④	10月29日(火)	郡上市立大和北小学校	岐阜県
	11月12日(火)	若狭町立気山小学校	福井県 / 若狭町教育委員会
	11月13日(水)	岐阜市立茜部小学校	岐阜県 / 岐阜市教育委員会
	11月14日(木)	南知多町立師崎小学校	愛知県教育委員会 / 南知多町教育委員会
⑤	11月22日(金)	小浜市立中名田小学校	福井県 / 小浜市教育委員会
	12月9日(月)	森町立泉陽中学校	静岡県
	12月10日(火)	豊根村立豊根中学校	愛知県教育委員会 / 豊根村教育委員会
	12月11日(水)	岡崎市立奏楽小学校	愛知県教育委員会 / 岡崎市教育委員会

出演

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
ふえ	さこう やすひろ	あいはら かずひこ	あいはら かずひこ	すぎ したろう	もりた やすよし	すぎ いちかず	もりた やすよし
こつつみ	はやし やまと	そわ ことろ	はやし やまと	ふるた とむで	吉阪 一郎	そわ ことろ	はやし ひろき
おおつづみ	石井保彦	谷口正壽	井林久登	河村 大	井林久登	渡部 諭	渡部 諭
たいこ	井上敬介	前川光長	前川光範	前川光範	井上敬介	前川光範	前川光範
あんないにん	谷口正壽	唐錦崇玄	唐錦崇玄	谷口正壽	谷口正壽	谷口正壽	谷口正壽
案内人	谷口正壽	唐錦崇玄	唐錦崇玄	谷口正壽	谷口正壽	谷口正壽	谷口正壽

プロフィール

いっばんしゃだんほうじん きょうとうのうがくはやししかた どうめいかい
一般社団法人 京都能楽囃子方 同明会

京都を活動の中心とする能楽囃子方の団体です。囃子方ならではの能楽公演「同明会能」や能楽囃子の音楽性にスポットを当てた「囃子堂」公演、ワークショップを中心とした「学校公演」、子供達だけで実演する「こども能楽囃子教室」など、次世代に能楽の魅力を伝える活動を展開しています。大正7年の創立です。

ウェブサイト <http://noh-doumeikai.com>

はやしどう？

絵：まゆか



知っていますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。